



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

報道関係各位

2011年7月27日

新帯広事業所 竣工のお知らせ 環境に配慮し地域に貢献する施設づくりの実現 - 2011年11月より稼動開始 -

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 社長：矢吹 健次）は、道東地区の物流と営業機能の強化、及び職場環境改善を目的として、音更町IC工業団地内に新事業所を建築いたします。

新事業所は環境面に配慮した設計と地域に根ざした事業所を目指し、北海道コカ・コーラボトリング(株)の他、関連会社4社が入ります。

【主な設備の省エネ】

太陽光発電パネルの設置（最大出力時：事務所照明（LED）の90%程度、
拡張性のあるパネル配置）

事務所等照明LED化

洗車機節水設備（洗車水の再利用により約80%節水）

電力の見える化設備（省エネ意識の啓蒙）

倉庫バース間の2重シートシャッター化（冬期間の倉庫内暖気損失防止対策）

LPGガスヒートポンプエアコン

倉庫内暖房台数制御システム（設定温度に応じた暖房運転）

また、隣接する帯広市とは2010年9月に「協同のまちづくりに関する基本協定」を締結し、それに基づくバイオディーゼル燃料の利用促進に向けて今年6月、バイオディーゼル燃料を使用する車両を製品配送車両に一部導入いたしました。このバイオディーゼルの商業使用は、日本全国のコカ・コーラシステムでは初めての取組みとなります。

あわせて、夜間稼動時の照明の消費電力を全てソーラー発電でカバーし、消費電力ゼロを実現したソーラーパネル搭載自動販売機を帯広市内へ積極的に導入しています。

なお、2012年4月を目処に札幌工場（札幌市清田区）において、これまで製造していない大型ペットボトルを中心とした炭酸飲料から無菌製品の製造を可能とするマルチラインを導入と併せて、本社や他事業所のソーラーパネルの導入などを検討しています。

同ラインの特徴として、北海道の市場ニーズに適合した地域特性を活かした新製品の導入やペットボトルの殺菌方法に新技術を採用し、水使用量を削減するなど、新たな価値創造の実現や、自社製造による地産地消を推進することで、環境に配慮したラインになる予定です。

当社は、地域住民・行政・企業が連携しながら環境に配慮したまちづくりを継続的に応援し、これからも積極的に地域貢献に参画してまいります。

当社は、「Restart 2009～北の大地と共に～」をスローガンに、“さわやかさと潤い”を提供し、地域社会に信頼され、ともに発展していくことを目指してまいります。

これからも、営業・物流の効率化を図るとともに、お客様に密着したより質の高いサービスを提供し、地域社会に貢献してまいります。

【新帯広事業所の概要】

建築名称 : 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 帯広事業所
所在地 : 河東郡音更町字音更西三線14番25
人員 : 100名
面積 : 敷地面積 20,013㎡(6,054坪)
: 建築面積 8,073㎡(2,442坪)
: 延べ面積 8,005㎡(2,422坪)
構造 : 鉄骨造
建築主 : 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
設計施工 : 株式会社 大林組
建築工期 : 平成23年5月～平成23年11月

【完成イメージ図】



< 本件に関するお問い合わせ先 >
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
広報・CSR推進部 広報課
TEL 011-888-2091